

理事長	社長	事務長	報告者
			

【 掛川電気引込工事センター 月次報告書 】

期間：平成30年 9月1日～9月30日

●伝票付託枚数 中部電力(株) ⇒ センター

	掛川営業所	磐田営業所	計
寺井電機	261	0	261
浜電工業(株)	192	23	215
(有)中泉電気工業	0	231	231
計	453	254	707

●協力工事店へのスイッチング工事 付託枚数 ※上記に含まず

	掛川営業所	磐田営業所	計
(有)竜東電気工事商会	0	26	26
計	0	26	26

協力工事店へのスイッチング工事発注に関して透明性・公平性が欠如している問題については、協力工事店から公募する方向で調整を進める。
 公募実施時期については、センター代表社員と事務局で検討中である。

●竣工実績(施工件数)

	引込線工事	計器工事	スイッチング*工事	点検・改修工事	計
寺井電機	202	67	45	14	328
浜電工業(株)	166	83	22	9	280
(有)中泉電気工業	211	84	0	7	302
計	579	234	67	30	910

●手直票の発行状況

	内容	結果
寺井電機(株) 計3件	計器BOX取付けネジが緩い為、強固に取付け願います。(1件)	寺井電機にて 手直し完了済
	先方BOX内SM電源側に、計器用絶縁端末キャップの取付がありませんでした。取付をお願いします。(2件)	

浜電工業(株)
 (有)中泉電気工業 } ありませんでした。

●クレーム、その他

ありませんでした。

社長	理事長	事務長
		

【 議 事 録 】

作成者： 小野

作成日：平成30年11月5日

会議名	センター会議
開催日時	2018年10月19日(金) 16:05~17:05
場所	掛川電気会館 2階会議室
出席者 (計6名)	直営班 : 寺井電機(小林社長) 中泉電気(寺井将晃さん) : 浜電工業(沖祥博さん) センター : 鈴木社長、河原崎常務、小野
欠席者 (計2名)	直営班 : 寺井電機(寺井会長) センター : 小野田さん

議題1:安全パトロール実施結果について

◆センター鈴木社長より、小野田さんが実施した現場パトロールの結果を報告し、出席者全員で共有した。

①9月28日 (有)中泉電気工業

- ・TBM-KYの内容に改善が必要と感じた(作業責任者から各作業員への指示で危険ポイント・品質ポイントが抜けており、それに基づいた一人KYがされていない)。
- ・電線ドラムを地上に置いて延線する場合、公衆災害防止の為に危険標識の設置が望ましい。
- ・高所作業車の車体アース取付忘れがあったが、指摘後に即改善された。
- ・作業着手前、充電柱への各種検電により感電防止に努めている。
- ・資材の使用前点検が不足していた(PJコネクタに古い電線が挟まっており、締付不完全となり作業中に抜けてしまった)。

②10月12日 浜電工業(株)

- ・低圧線の接続作業時には、監視者の指示を受ける前に適切な位置(30cm手前)で保護具を着用出来ており、短絡防止の為に流出部分に保護具を取付し感電防止に努めている。
- ・坂道での高所作業車の輪留めは二重設置を行っており良かったが、作業車の移動が続いた時に輪留めの取付忘れがある。
- ・接続作業では一線毎の接続呼称がされているが、相確認を色別に確認呼称するとより良質工事に繋がる。
- ・地先への挨拶は良くされており、接遇が良かった。

③10月19日 寺井電機(株)

- ・バケット内の昇降時に使用する補助ロープの長さが不足しており、適切な使用が出来ない状態であり、改善が必要であった。
- ・適切な位置・箇所で保護具、防具が使用されており、感電防止に努めている。

・制服が夏服から冬服に切り替わる時期だが、会社としてどちらかに統一して現場に出向してもらいたい。

(直営班より)

- ・「危険標識」について、どの程度のものが必要なのか小野田さんに確認したい。
- ・夏服と冬服については、年代に差がある(20代～60代)ことから切り替えの時期は個人が快適に作業出来る方を選択していたが、直営班は“周囲から見られている”ことを念頭に置き、今後は統一していくこととする。
- ・バケット補助ロープの長さ不足については、小野田さんから改めて話を聞きたい。

議題 2: センター事務局より依頼事項

◆センター小野より、下記 3 点について直営班へ協力を要請した。

① 込線劣化張替えの推進

・前回センター会議に引き続き、積極的な施工推進を要請した。

② 計器と SB の同時施工について

・「計器取替と SB 撤去」の現場において、SB 撤去が申込み工事店(一般店)の都合で後日になる場合があるが、同時に施工してもらいたい。

※計器取替が終わっていても SB 撤去が残ってしまうと竣工があげられず困る為。

③センターとの伝票授受の方法変更について(中泉電気)

- ・現在はセンターが毎日中電磐田営業所へ出向することから、中電磐田営業所にて伝票授受を行なっているが、中電の電子システム運用開始によりセンター事務局の業務負担が大きくなり改善が必要な状況である。
- ・センターの負担軽減について中電と調整の結果、毎日の磐田営業所への出向を無くし、全て掛川営業所を窓口として伝票授受を行なうように変更となる。(中電掛川⇔中電磐田間は、中電のメール便を利用)
- ・したがって、中泉電気も他の 2 社と同様に毎日センター事務所にて伝票授受を行なうように協力をお願いしたい。

⇒中泉電気より

- ・毎日センターへ出向することは負担だが、協力する。
- ・しかしながら、伝票を必ずしも対面で授受しなければならないことはないと考えており、今後はメールやカラーFAXを使用した授受も検討してもらいたい。




⇒鈴木社長より

- ・ひとまず中泉電気の協力を得たので、様子を見る。改善要望等あれば、今後センター会議で協議していく。
- ・カラーFAXやメールでの伝票授受は、今後の検討課題とする。

次回センター会議 : 平成 30 年 11 月 16 日(金) 16:00 開始

上記内容について、合同会社掛川電気引込工事センター直営班の了解を得られました。

寺井電機株式会社	代表取締役会長	寺井 道雄	㊞
浜電工業株式会社	代表取締役	松田 良克	(代理) 沖 祥博 ㊞
有限会社中泉電気工業	代表取締役社長	寺井 邦夫	㊞

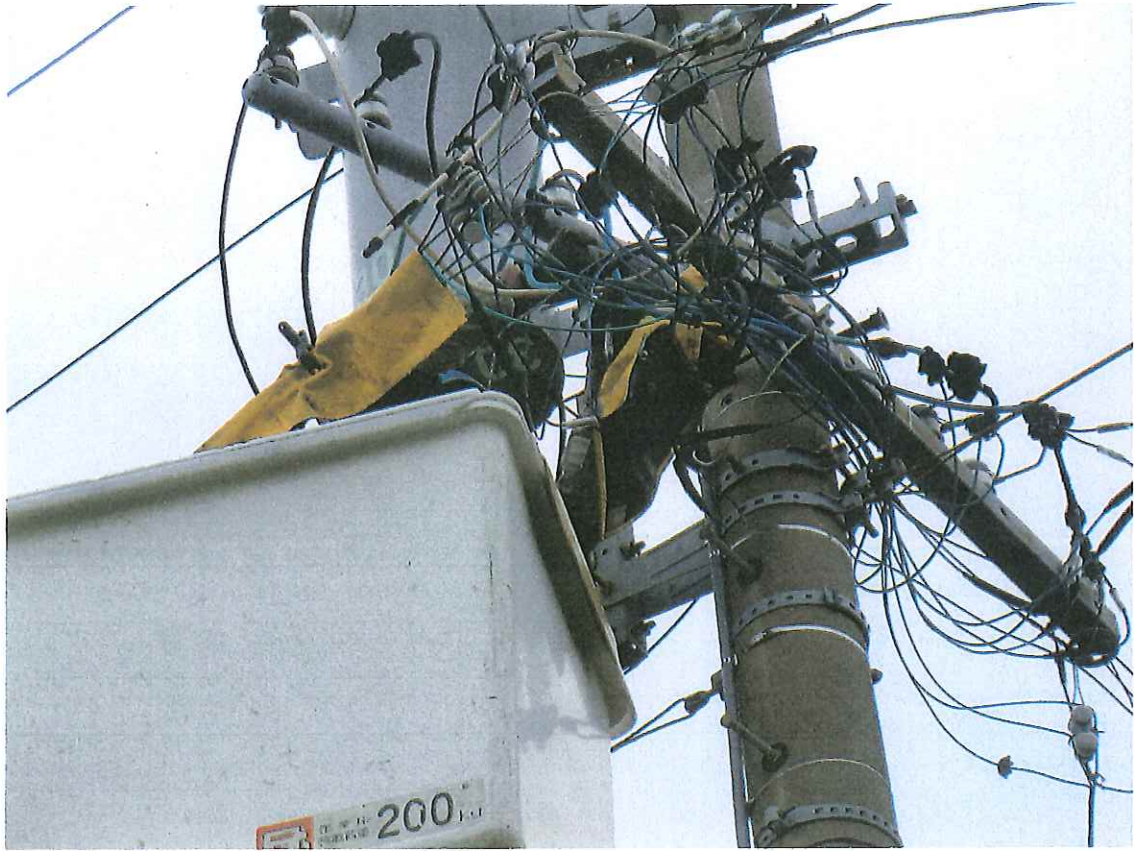
社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年10月19日(金)
実施時間	10:00 ~ 11:00
現場住所 引込柱	掛川市柳町 01ア404
直営班(会社名)	寺井電機(株)
現場作業員名	市川 俊 戸田芳久 太田陸斗
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. バケツト内への昇降時使用の補助ロープの長さ不足により正しい使用が出来ない状況であり改善が必要。 2. 保護具・防具の使用状況は適切な位置・箇所で使用されており感電防止に努めている。 3. 計器取付方法は上締め・引張り確認の順に行い適切な工事方法であり良質工事に努めている。 4. 服装が夏服から冬服に代わる季節ですが会社として、統一して現場に出向させてもらいたい。




※現場写真は別紙参照



01ア 404

平成30年10月19日

1. 流出・流入ヶ所への防具取付よし。
2. 低圧手袋の着用タイミングよし。

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	H30. 10. 26
実施時間	10:40~11:50
現場住所 引込柱	磐田市川袋 60 ㊦ 922
直営班 (会社名)	(有) 中泉電気工業
現場作業者名	寺井 将晃、遠藤 智 岡田 和久、寺井 邦夫
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. TBM-KY の実施状況、作業の内容、手順、人員配置又、危険ポイント指示を適確に行い、一人 KY の実施をされており、指摘事項なし。 2. 監視業務も位置、助言が適切に行われており、安心して見ていられた。 3. DV 線の先端は、垂れ下がりによる事故防止の処置がされており、安全作業意識が高いチームと感じられた。 4. 引込 DV 線と柱側の二次側の接続識別が違い、色で接続が行われたが、DV 線の端尺発生防止で識別が変わったが、極力同色接続に努めてもらいたい。

※現場写真は別紙参照



60 ヨ 922

平成30年10月26日

1. ジャッキベース使用状況よし。
2. アース線の安全処置よし。

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 10月 12日 (金)
実施時間	9:00~10:00
現場住所 引込柱	菊川市中内田 53才691
直営班 (会社名)	浜電工業 (株)
現場作業者名	本橋 亘 藤本 孝行
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 低圧線の接続作業時には、監視者の指示を受ける前に、適切な位置 (30cm 手前) で保護具を着用し流出部分に短絡防止のために保護具を取付感電防止に努めている。 2. 坂道でのバケット車の輪止めは二重設置を行い安全作業に努めている。

※現場写真は別紙参照



防護取付状況よし
低圧保護具使用状況よし

平成30年10月12日

53才691



流出部分の防具取付よし
低圧保護具使用状況よし

平成30年10月12日

53才691



坂道の輪留め二重取付よし

平成30年10月12日

53A691

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成30年 10月 12日 (金)
実施時間	10:20~11:50
現場住所 引込柱	御前崎市門屋 62エ12サ
直営班 (会社名)	浜電工業 (株)
現場作業員名	本橋 亘 藤本 孝行
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中部電力パトロールによる指摘事項による、低圧ゴム手袋の着用位置又感電防止の防具 (低圧シート) 取付も改善された安全作業を進めており指摘事項に対する共有化が図られていました。 2. 接続作業では一線毎の接続呼称はされているが、相確認の色別確認の呼称がされれば、より良い良質工事につながると思います。 3. バケツト車の移動が続いたときに、輪止めの取付忘れがある。 4. 地先への、挨拶は良くされており接遇が良かった。

※現場写真は別紙参照



一部、輪留めの取付け忘れが見受けられた。

平成30年10月12日

62コ 12ウ